

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1946
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.39, No.1 (1946. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19460700--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編輯後記

戦争によつて破壊された日本經濟を如何に再建するか、如何に民主的に再編成するかは、今日最も重要な問題であり、多くの關心を寄せられる所である。それに關する論説も非常に多いが、階級意識に基くものが其の主流をなしてゐる様に思はれる。經濟は或る發展段階を持つものであるが、それは所謂公式通りに動くものでもなければ、又一時期を劃して新世界が忽然として生れるものでもない。國民經濟は其の國の社會、政治、其の他の諸要因の相關々係の下に固有の發展様式を示すのである。最近、「封建的」と云ふ言葉が流行し、悪いものの代名詞の如く使用されてゐるが、果して「封建的」とは如何なるものかを正確に知つて使用する者が何人あらうか。我々日本人には雷同性が強い。無批判に漠然たる思考の下に受入れ、盲從する點は、我々の最も戒むべき所である。我々もつと事實を事實として知り、其の上に立つて堅實なる建設をしなければならぬ。

この意味に於て野村博士の「徳川制度の特質」は我が國の近代經濟社會の特質を西歐のそれと對照し鮮明にしたものであり、正しい歴史觀と日本經濟社會の基礎構造を理解する上に大きな價值があるものと思ふ。高橋先生の「西洋古書解題」は定評ある所であり、平井教授の「マルクスの思想の系譜」はフランス社會主義思想より見たマルクス觀であつて、マルクス研究の新側面をなすものであらう。(松尾直方)



慶應義塾

現代の苦悶

——再刊に際して

論說

利子動態説への回顧
資本主義經濟か社會主義經濟か
國民所得の統計的解析

資料

地方主義による地方産業の編成問題

本誌第三十八卷總目次

野村兼太郎(一)

氣賀健三(八)

千種義人(六)

鈴木諒一(五)

奥井復太郎(三)

三田學會雜誌

第三十九卷 第一號

禁轉載

昭和二十一年十一月二十五日印刷 第三十九卷
昭和二十一年十二月一日發行 第六號
本號 定價 五圓(稅共) 送料 三十錢
發行所 東京市芝區三田町八
高村象平
川口芳太郎
帝國印刷株式會社
印刷所 東京市芝區三田町八
印協會員東京一〇一

豫約購讀料 一年分 金六十圓

豫約購讀料は發賣所宛お拂込み下さり、誌代變更の場合は精算決済致します。編輯に關する用件は發行所へ、營業に關する用件、購讀申込は發行所へ願ひます。

發行所 東京市芝區三田二丁目慶應義塾大學經濟學部附設書庫内

慶應義塾經濟學會

發賣所 東京市芝區三田二丁目一〇一六

慶應出版株式會社

電話 元 東京市芝區三田二丁目一〇一六

日本出版配給株式會社